



白河二中だより

NO. 18

2024. 8. 30
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

万全の状態

夏休み明けの大会、コンクール等に向け、たくさんの練習を積み重ねてきた子どもたち。今週開催された英語弁論大会、音楽祭（合唱）においても、それぞれが成果を発揮することができました。

今週末も、明日は特設合唱部が郡山文化センターで、1日（日）には吹奏楽部が喜多方プラザでコンクールに挑みます。また、来週開催される駅伝大会に向け、互いに刺激し合い黙々と走り抜ける姿が見られますので、これまでの地道な取り組みが実を結ぶことを祈っています。

さて、以前からお伝えしていますように、今年度から「東西しらかわ中学校新人総合大会」は廃止となりました。運動部に関しては、今後、週末等に開催される各競技ごとに計画された大会でシードを決めたり、県大会への出場権を獲得したりすることとなります。これからの計画等については、今後お知らせしますが、日程を確認いただき、万全の状態当日を迎えられますよう、ご家庭でも声をかけていただければと思います。応援もどうぞよろしく願いいたします。

豊かな表現力

28日（水）、矢吹町文化センターにおいて、東西しらかわ中学校英語弁論大会が開催され、本校からは3名が出場しました。暗唱の部では高木小和さんが「A Doll With Blue Eyes」を、創作の部では高橋侑士君が「To Be a Bridge」、石岡大和君が「What I Learnt From Regret」を発表しました。

校内オーディションにより選考された3名は、夏休み中も練習を重ね、本番を迎えましたが、発音、表情、ジェスチャーなども含めて表現力が豊かで、会場の皆さんを魅了する発表となりました。

3名全員が入賞を果たし、2位となった高



木さん、高橋君の2名は9月13日（金）に同会場で開催される県大会への出場権を獲得しました。

素敵なハーモニーを

29日（木）、白河文化交流館コミネスにおいて、東西しらかわ中学校音楽祭が開催され、本校からは、常設合唱部4名と3年生の特設部員と合わせて、当日は32名が出場しました。

1学期後半から夏休みに向け練習を重ね、言葉の一つ一つの意味をしっかりと理解して歌い上げ、また、音楽の楽しさ、合唱の素晴らしさを伝えることができる歌声を披露しました。

結果は、見事に「優秀賞」を獲得することができました。2、1年生の合唱部の皆さんにも今回の貴重な経験を生かし、素敵なハーモニーを追究し続けてほしいと思います。保護者の皆さん、応援ありがとうございました。



整った環境で

25日（日）に実施しました奉仕作業へのご協力ありがとうございました。昨年末に校庭使用を開始し、各部活動や体育科でも整備を重ねてきましたが、行き届かなかった除草にご協力いただいたおかげで、グラウンド、校地周辺の植栽もとてもきれいになりました。子どもたちの環境を整備しようとして黙々と活動して下さった保護者の皆さんの期待に応えられるよう、より充実した授業、部活動等を展開していきたいと思っております。生徒の皆さんもありがとうございました。